

## 第 2 4 回 議 会 運 営 委 員 会

日 時 令和 2 年 4 月 2 4 日 (金)

広聴特別委員会終了後

場 所 第 1 委 員 会 室

### 付議事項

- 1 新型コロナウイルス対策特別委員会設置にあたって要望書

山陽小野田市議会

議長 小野 泰 様

2020年4月20日

山陽小野田生活と健康を守る会

会長 中島 好人

### 新型コロナウイルス対策特別委員会設置にあたって要望書

新緑の候、日々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて山陽小野田生活と健康を守る会では別紙の要望書を藤田市長に提出したところです。現在新型コロナウイルスの感染拡大はますます拡大の一途で、収束の兆しが見えてきません。このような時に貴市議会が「新型コロナ対策特別委員会」を設置されることは時期にかなっており大歓迎であります。

つきましては別紙の藤田市長への要望書をふまえて、山陽小野田市が独自の新型コロナ対策を推進し、市民が安心して生活し、働ける環境をつくるために、市議会としても積極的に対応されるよう要請いたします。

記



#### <藤田市長に要望した項目>

- 1、社会福祉協議会が窓口となっている「緊急小口資金」貸付は、所得制限がなく申請して翌日には貸付が行われ、国も新型コロナ対応の緊急生活資金の貸付と位置づけている。電話による申請も含めて土・日でも対応できるように行政が援助・協力すること。
- 2、市役所での窓口申請等については、感染リスクの軽減と早期支援の見地から来庁時における聴取は「要否判定」に直接必要な情報のみとし、できる限り郵送や電話等により速やかに対応・決定が行えるようにすること。
- 3、市内でのマスク、アルコール消毒液等が店頭から消えて品物がない状態が長期化している。福井県のように市がマスク製造メーカーや地元企業へ

のマスク製造等の依頼を行って買い上げ、直接、市民のためにマスク等を確保するとともに、市民への配布を行うこと。

4、新型コロナウイルス感染対策として打ち出された国民1人当たり10万円の給付に関連して、政府は住民基本台帳を基本とする方針を打ち出したが、外国人差別等を行わず一律の対応とすること。国の補正予算が成立後には直ちに市民向けの広報を重視し、迅速な対応ができる体制をとること。

5、新型コロナウイルス感染予防の影響で職を失った市民のために、市が独自に雇用の場を創出すること。

6、県健康福祉センターで行われている「帰国者・接触者相談センター」による現状のPCR検査はクラスター対応型で、感染源の分からない患者が多数を占めるようになった現在、既に限界を迎えている。検査が必要な市民や希望する市民への迅速、大量のPCR検査が行えるように、既に全国医師会等が提言しているPCR検査センター（ドライブスルー方式を含む）を市民病院駐車場等に設置するとともに、軽症感染者隔離などができる施設の確保など、行政が指導力を発揮すること。

7、3月に引き続いて小中学校の臨時休校の措置が取られた。しかし長期間にわたって子どもたちに自宅で自習を強いるという無責任な体制そのものが市民の不安に拍車をかけている。既に一部の学習塾等では行われているようなタブレットやPCを活用した「遠隔授業」の体制を早急にする必要がある。タブレットや通信環境のない家庭にはタブレットやWiFi機器の貸与等も含めて必要な予算措置を行うこと。

8、市立図書館が閉館されて久しいが、電話による個別の貸出業務や郵送や返却ポストを活用した図書館業務の再開を直ちに検討すること。

9、国の新型コロナウイルス対策のための「臨時交付金」については、売上の減少した自営業者や休業等を行った事業所への協力金や支援金として積極的に活用し、従業員等の解雇防止や地代・家賃や借入金返済利子等への活用ができるようにすること。また国に地方独自の新型コロナウイルス対策に関する起債を認めるよう働きかけること。

以上